

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2015-9111

(P2015-9111A)

(43) 公開日 平成27年1月19日 (2015.1.19)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
A 4 7 B 17/00 (2006.01)	A 4 7 B 17/00 C	3 B 0 5 3
A 4 7 B 31/00 (2006.01)	A 4 7 B 31/00 C	

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2013-139127 (P2013-139127)	(71) 出願人 391029406
(22) 出願日 平成25年7月2日 (2013.7.2)	カリモク家具株式会社
特許法第30条第2項適用申請有り カリモク家具2013年新作フェア 平成25年6月5日～6月6日 カリモク家具2013年新作フェア 平成25年6月19日～6月20日 カリモク家具2013年新作フェア 平成25年6月25日～6月27日	愛知県刈谷市広小路三丁目十七番地
	(74) 代理人 100101535
	弁理士 長谷川 好道
	(74) 代理人 100161104
	弁理士 杉山 浩康
	(72) 発明者 小嶋 哲朗
	愛知県知多郡東浦町大字藤江字皆栄町108 カリモク皆栄株式会社内
	Fターム (参考) 3B053 SC01 SC04

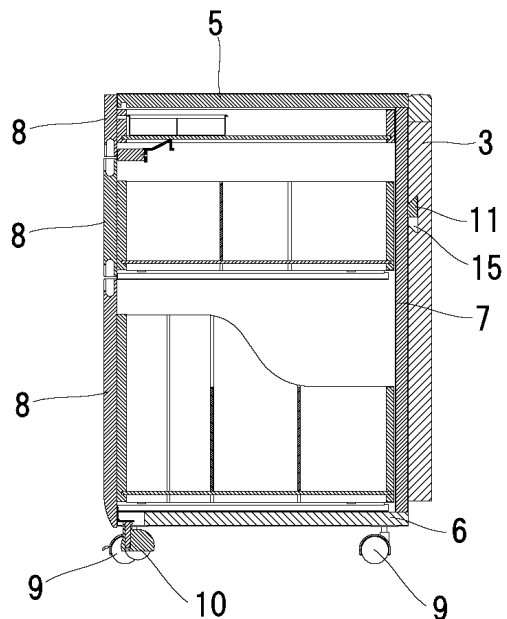
(54) 【発明の名称】 サイドキャビネット

(57) 【要約】

【課題】板状部材をサイドキャビネットに収納できるようにしたサイドキャビネットを提供する。

【解決手段】本体部2と板状部材3を有し、前記板状部材3は、前記本体部2の上部に取外し可能に取付できるとともに、前記本体部2の背部に収納でき、前記板状部材3を前記本体部2の背部に収納した際に、デスクの天板の下部に設けた空間内に収納できるようにした。

【選択図】 図9



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

本体部と板状部材を有し、

前記板状部材は、前記本体部の上部に取外し可能に取付できるとともに、前記本体部の背部に収納でき、

前記板状部材を前記本体部の背部に収納した際に、デスクの天板の下部に設けた空間内に収納できることを特徴とするサイドキャビネット。

【請求項 2】

前記本体部の背面に凸部を固設し、前記板状部材の裏面に凹部を形成し、この凸部と凹部を係合させることにより、前記板状部材を前記本体部の背部に収納するようにしたことを特徴とする請求項 1 記載のサイドキャビネット。

10

【請求項 3】

前記本体部の背部の少なくとも下端部に、L 字状の取付部材を固設し、該取付部材に前記板状部材を係合させることにより、前記板状部材を前記本体部の背部に収納するようにしたことを特徴とする請求項 1 記載のサイドキャビネット。

【請求項 4】

前記本体部の背部に収納部を形成し、該収納部に前記板状部材を収納できるようにしたことを特徴とする請求項 1 記載のサイドキャビネット。

【請求項 5】

前記収納部に、前記板状部材を挿入するようにしたことを特徴とする請求項 4 記載のサイドキャビネット。

20

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、サイドキャビネット、より詳しくは、移動自在で、デスクの天板の下部に設けた空間内に収納することができるサイドキャビネットに関する。

【背景技術】**【0002】**

従来、学習機と同時に使用するサイドキャビネットとして、サイドキャビネットの上板の上部に板状部材を取り付け、その上面の高さと、学習機の天板の高さを同じにすることで作業スペースを広く確保できるようにし、また、広い作業スペースが不要な場合には、前記板状部材を取外して、サイドキャビネットを、学習機の天板の下部に形成した空間内に収納できるようにしたものが知られている。

30

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0003】**

前記従来のサイドキャビネットにおいては、板状部材を取外した場合に、その取外した不使用の板状部材を収納する場所を、サイドキャビネットに設けていないために、その板状部材の収納場所を、サイドキャビネット以外の場所で確保する必要があった。

40

【0004】

そこで、本発明は、前記板状部材をサイドキャビネットに収納できるようにしたサイドキャビネットを提供することを目的とするものである。

【課題を解決するための手段】**【0005】**

前記の課題を解決するために、請求項 1 記載の発明は、本体部と板状部材を有し、

前記板状部材は、前記本体部の上部に取外し可能に取付できるとともに、前記本体部の背部に収納でき、

前記板状部材を前記本体部の背部に収納した際に、デスクの天板の下部に設けた空間内に収納できることを特徴とするものである。

50

【 0 0 0 6 】

請求項 2 記載の発明は、請求項 1 記載の発明において、前記本体部の背面に凸部を固設し、前記板状部材の裏面に凹部を形成し、この凸部と凹部を係合させることにより、前記板状部材を前記本体部の背部に収納するようにしたことを特徴とするものである。

【 0 0 0 7 】

請求項 3 記載の発明は、請求項 1 記載の発明において、前記本体部の背部の少なくとも下端部に、L 字状の取付部材を固設し、該取付部材に前記板状部材を係合させることにより、前記板状部材を前記本体部の背部に収納するようにしたことを特徴とするものである。

【 0 0 0 8 】

請求項 4 記載の発明は、請求項 1 記載の発明において、前記本体部の背部に収納部を形成し、該収納部に前記板状部材を収納できるようにしたことを特徴とするものである。

【 0 0 0 9 】

請求項 5 記載の発明は、請求項 4 記載の発明において、前記収納部に、前記板状部材を挿入するようにしたことを特徴とするものである。

【発明の効果】

【 0 0 1 0 】

本発明によれば、本体部の上部に取り付けることが出来る板状部材を、不要な場合には、本体部の背部に収納できるようにしたことにより、前記従来技術のように、板状部材の収納場所として、サイドキャビネット以外の場所を確保する必要がない。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 1 1 】

【図 1】本発明の実施例 1 に係るサイドキャビネットで、板状部材を上部に取り付けた状態の斜視図。

【図 2】本発明の実施例 1 に用いる本体部の背部から見た斜視図。

【図 3】本発明の実施例 1 に係るサイドキャビネットで、板状部材を背部に収納した状態の斜視図。

【図 4】本発明の実施例 1 に用いる板状部材の背面側から見た斜視図。

【図 5】図 1 の正面図。

【図 6】図 3 の上面図。

【図 7】図 5 の A - A 線断面図。

【図 8】図 2 の正面図。

【図 9】図 8 の B - B 線断面図。

【図 10】図 9 の要部拡大図。

【図 11】図 1 に示すサイドキャビネットをデスクの側部に配置した状態の斜視図。

【図 12】図 3 に示すサイドキャビネットをデスクの空間に収納した状態の斜視図。

【図 13】本発明の実施例 2 に係るサイドキャビネットに用いる本体部の一例の背面側から見た斜視図で、キャストは省略してある。

【図 14】図 13 の本体部の背面に、板状部材を収納した状態の斜視図。

【図 15】図 13 の背面図。

【図 16】図 14 の右側面図。

【図 17】本発明の実施例 2 に用いる板状部材の裏面図。

【図 18】本発明の実施例 2 に係るサイドキャビネットに用いる本体部の他例の背面側から見た斜視図で、キャストは省略してある。

【図 19】本発明の実施例 3 に係るサイドキャビネットに用いる本体部の背面側から見た斜視図で、キャストは省略してある。

【図 20】図 19 の背面に、板状部材を収納した状態の斜視図。

【図 21】図 19 の右側面図。

【図 22】本発明の実施例 4 に係るサイドキャビネットに用いる本体部の他例の背面側から見た斜視図で、キャストは省略してある。

10

20

30

40

50

【図 2 3】図 2 2 の背面に、板状部材を収納した状態の斜視図。

【図 2 4】本発明の実施例 5 に係るサイドキャビネットに用いる本体部の他例の背面側から見た斜視図で、キャストは省略してある。

【図 2 5】図 2 4 の背面に、板状部材を収納した状態の斜視図。

【図 2 6】図 2 4 の右側面図。

【図 2 7】本発明の実施例 6 に係るサイドキャビネットに用いる本体部の他例の背面側から見た斜視図で、キャストは省略してある。

【図 2 8】図 2 7 の背面に、板状部材を収納した状態の斜視図。

【図 2 9】図 2 7 の右側面図。

【発明を実施するための形態】

10

【0012】

本発明を実施するための形態を図に基づいて説明する。

[実施例 1]

本発明の実施例 1 に係るサイドキャビネット 1 は、図 1 に示すように、本体部 2 と板状部材 3 を有する。

【0013】

前記本体部 2 は、図 2 , 3 に示すように、一对の側板 4 , 4 を有し、該側板 4 , 4 間の上端に上板 5 が、側板 4 , 4 間の下端に下板 6 が、その背部側の端に背板 7 が固設されている。側板 4 , 4 間には、抽斗 8 が上下方向に任意の数、本実施例においては 3 個、出し入れ可能に設けられている。前記下板 6 の下部の 4 隅には、キャスト 9 が回動可能に設けられている。最も下部に設けた抽斗 8 の前端部の下部には、キャスト 10 が回動可能に設けられている。

20

【0014】

前記上板 5 には、図 2 , 6 , 7 に示すように、上下方向に貫通する取付穴 5 a が 4 箇所形成されている。

【0015】

前記背板 7 の背側面には凸部 11 が固設されている。この凸部 11 は、図 2 , 5 に示すように、横方向に長い長尺状に形成されている。該凸部 11 の上面は、図 10 に示すように、背側（後側）に向かうほど上方に向かうテーパ状の係合面 11 a に形成されている。凸部 11 の背側面は、背板 7 と略平行に形成され、凸部 11 の下面は、上板 5 と略平行に形成されている。

30

【0016】

前記板状部材 3 は、図 4 に示すように、略長方形状に形成されている。該板状部材 3 は、その裏面に有底状の取付穴 13 が形成され、該取付穴 13 内にはナットが固設されている。該取付穴 13 は、前記上板 5 の取付穴 5 a に対応した位置に設けられている。

【0017】

前記板状部材 3 の裏面には、図 4 , 10 に示すように、凹部 15 が形成されている。該凹部 15 は、横方向に長い楕円形状に形成されていると共に、図 10 に示すように、奥部程拡径する蟻溝状に形成されている。該凹部 15 は、前記凸部 11 を挿入できると共に、該凸部 11 の係合面 11 a と係合する係合面 15 a が形成されている。凹部 15 の底面は、裏面と略平行に形成されている。

40

【0018】

前記板状部材 3 は、図 1 , 5 ~ 7 に示すように、上板 5 の上部に載置し、上板 5 の下（裏面）側からボルト 17 を前記取付穴 5 a に挿通し、板状部材 3 の取付穴 13 内のナットに螺合することにより、上板 5 の上部に取外し可能に取り付けることが出来るようになっている。

【0019】

また、図 3 , 8 ~ 10 に示すように、背板 7 の凸部 11 に、板状部材 3 の凹部 15 を引っ掛けて係合させることにより、背板 7 の背部に板状部材 3 を取り付け、板状部材 3 を本体部 2 の背部に収納することが出来るようになっている。

50

【 0 0 2 0 】

前記サイドキャビネット 1 と共に使用するデスク 2 1 は、図 1 1 , 1 2 に示すように、天板 2 2 を有し、該天板 2 2 の両側下部に一对の脚 2 3 , 2 3 が設けられている。前記天板 2 2 の下部で、両脚 2 3 , 2 3 間には、空間 (収納空間) 2 5 が形成されている。

【 0 0 2 1 】

図 1 に示すように、板状部材 3 を、本体部 2 の上板 5 の上部に取り付けたサイドキャビネット 1 は、図 1 1 に示すように、デスク 2 1 の側部に配置した際に、サイドキャビネット 1 の板状部材 3 の上面とデスク 2 1 の天板 2 2 の上面は、略面一になるように設定されている。

【 0 0 2 2 】

また、図 3 に示すように、前記板状部材 3 を背部に収納したサイドキャビネット 1 は、図 1 2 に示すように、デスク 2 1 の空間 2 5 内に、収納することが出来るようになっている。

【 0 0 2 3 】

前記板状部材 3 を上板 5 の上部に取り付けた際には、図 1 1 に示すように、板状部材 3 の上面とデスク 2 1 の天板の上面が、略同じ高さになるので、デスク 2 1 の作業スペースを広く確保することが出来る。

【 0 0 2 4 】

一方、サイドキャビネット 1 を、デスク 2 1 の空間 2 5 内に収納する際には、不要となる板状部材 3 を、本体部 2 の背部に、前記のように容易に取り付けることが出来るとともに、板状部材 3 を作業に影響しないサイドキャビネット 1 の背部に収納することができる。

【 0 0 2 5 】

また、前記凸部 1 1 の係合面 1 1 a を背側に向かうほど上方に向かうテーパ状に形成し、凹部 1 5 を奥部程拡径する蟻溝状に形成したことにより、板状部材 3 を、サイドキャビネット 1 の背部に取り付けた際に、サイドキャビネット 1 の移動や振動等により、板状部材 3 が落下することを防止することが出来る。

【 0 0 2 6 】

[実施例 2]

前記実施例 1 においては、背板 7 の背側面には横方向に長尺の凸部 1 1 を形成し、該凸部 1 1 に対応した凹部 1 5 を板状部材 3 の裏面に形成したが、板状部材 3 を、背板 7 の背側面に引っ掛けて取り付けることが出来れば、前記凸部 1 1 と凹部 1 5 の形状や数は任意に設定することが出来る。

【 0 0 2 7 】

例えば、図 1 3 乃至図 1 7 に示すように、背板 7 の背側面の上部の両側部に丸状の凸部 3 1 , 3 1 を 2 個設け、該凸部 3 1 , 3 1 と嵌合して係合できる丸状の凹部 3 2 , 3 2 を板状部材 3 の裏面に形成するようにしても良い。

【 0 0 2 8 】

凸部 3 1 は、背側ほど拡径し、凹部 3 2 は、奥部側ほど拡径する蟻溝状に形成することで、板状部材 3 を、サイドキャビネット 1 の背部に取り付けた際に、サイドキャビネット 1 の移動や振動等により落下することを防止することが出来る。

【 0 0 2 9 】

また、図 1 3 乃至図 1 7 の実施例に示す凸部 3 1 を、図 1 8 に示すように、背板 7 の左右方向の中央部において、その上下方向に 2 個適宜間隔を有して設けるようにしてもよい。凹部 3 2 は、該凸部 3 1 の位置に対応して板状部材 3 の裏面に形成する。

【 0 0 3 0 】

本実施例 2 においても、前記実施例 1 と同様の方法により、本体部 2 の上部に板状部材 3 を取り付けることが出来るようになっている。

【 0 0 3 1 】

その他の構造は、前記実施例 1 と同様であるため、同一部分には同じ符号を付して、そ

10

20

30

40

50

の説明を省略する。

本実施例 2 においても、前記実施例 1 と同様の作用、効果を発揮することが出来る。

【 0 0 3 2 】

[実施例 3]

図 1 9 乃至図 2 1 は、実施例 3 を示す。

【 0 0 3 3 】

本実施例 3 は、前記実施例 1 , 2 とは、本体部 2 の背部に対する板状部材 3 の取り付け方法が異なる実施例である。

【 0 0 3 4 】

本実施例 3 は、本体部 2 の背面部の下端部に、上下方向の断面が L 字状の取付部材 4 2 を固設したものである。該取付部材 4 2 は、下板 6 と略平行で、かつ、背板 7 より後方へ突出して設置された取付部 4 2 a と、取付部 4 2 a の背側端部から上方に突出する係止部 4 2 b が一体に形成されている。該取付部 4 2 a は、下板 6 の下面にネジ等の任意の固定手段により固設されている。上記構造により、背板 7 と係止部 4 2 b の間には、上方と左右方向が開口する収納部 4 3 が形成されている。

10

【 0 0 3 5 】

図 2 0 , 2 1 に示すように、板状部材 3 の長尺方向が上下方向となるようにして、板状部材 3 の一部を取付部材 4 2 の収納部 4 3 内に挿入し係合させることにより、容易に板状部材 3 を本体部 2 の背部に収納することが出来るようになっている。

【 0 0 3 6 】

20

なお、取付部材 4 2 と下板 6 若しくは背板 7 を一体に形成しても良い。また、取付部材 4 2 は、板状部材 3 を挿入した際に、板状部材 3 が抜け落ちなければ任意の形状とすることが出来る。

【 0 0 3 7 】

その他の構造は、前記実施例 1 と同様であるため、同一部分には同じ符号を付して、その説明を省略する。

本実施例 3 においても、前記実施例 1 と同様の作用、効果を発揮することが出来る。

【 0 0 3 8 】

[実施例 4]

前記実施例 3 では、本体部 2 の背面端の下端部に L 字状の取付部材 4 2 を 1 個取り付けたが、それに加えて、図 2 2 , 2 3 に示すように、本体部 2 の背面端の上端部に、上下方向の断面が L 字状の取付部材 4 5 を設けるようにしてもよい。

30

【 0 0 3 9 】

該取付部材 4 5 は、上板 5 と略平行で、かつ、背板 7 より後方へ突出して設置された取付部 4 5 a と、取付部 4 5 a の背側端部から下方に突出する係止部 4 5 b が一体に形成されている。該取付部 4 5 a は、上板 5 若しくは背板 7 にネジ等の任意の固定手段により固設されている。上記構造により、背板 7 と係止部 4 5 b の間には、下方と左右方向が開口する収納部 4 7 が形成されている。

【 0 0 4 0 】

図 2 3 に示すように、板状部材 3 の長尺方向が上下方向となるようにして、板状部材 3 の上部と下部を取付部材 4 2 , 4 5 の収納部 4 3 , 4 7 内に横方向から挿入し係合させることにより、容易に板状部材 3 を本体部 2 の背部に収納することが出来るようになっている。

40

【 0 0 4 1 】

なお、取付部材 4 2 , 4 5 と下板 6 若しくは背板 7 を一体に形成しても良い。また、取付部材 4 2 , 4 5 は、板状部材 3 を挿入した際に、板状部材 3 が抜け落ちなければ任意の形状とすることが出来る。

【 0 0 4 2 】

その他の構造は、前記実施例 1 と同様であるため、同一部分には同じ符号を付して、その説明を省略する。

50

本実施例 4 においても、前記実施例 3 と同様の作用、効果を発揮することができる。

【 0 0 4 3 】

[実施例 5]

本実施例 5 は、前記実施例 1 ~ 4 とは、本体部 2 の背部に対する板状部材 3 の収納（取り付け）方法が異なる実施例である。

【 0 0 4 4 】

本実施例 5 では、図 2 4 ~ 2 6 に示すように、本体部 2 の両側板 4 , 4 の上下端部及び上板 5 と下板 6 を背板 7 よりも背側に延長し、背板 7 の背部に抜け止板 5 0 を、側板 4 , 4 間及び上板 5 と下板 6 との間の全面に設け、該抜け止板 5 0 と背板 7 との間に、左右方向の両側部が開口する開口部 5 1 a を設けて収納部 5 1 を形成したものである。収納部 5 1 の上下方向の長さは、板状部材 3 の長手方向の長さよりも長く設定されている。

10

【 0 0 4 5 】

板状部材 3 を所定の方角にした後に、開口部 5 1 a より収納部 5 1 内に板状部材 3 を挿入することにより、板状部材 3 を収納部 5 1 内、すなわち、本体部 2 の背部に収納することが出来るようになっている。

【 0 0 4 6 】

その他の構造は、前記実施例 1 と同様であるため、同一部分には同じ符号を付して、その説明を省略する。

本実施例 5 においても、前記実施例 1 と同様の作用、効果を発揮することができる。

【 0 0 4 7 】

20

[実施例 6]

前記実施例 5 においては、抜け止板 5 0 を側板 4 , 4 間及び上板 5 と下板 6 との間の全面に設けたが、抜け止板が上板 5 と下板 6 との間にわたって形成されていれば、この抜け止板の左右方向の長さは任意に設定することが出来、例えば、図 2 7 ~ 2 9 に示すように、収納部 5 1 の背側の一部が開口するように、収納部 5 1 を形成してもよい。

【 0 0 4 8 】

その他の構造は、前記実施例 5 と同様であるため、同一部分には同じ符号を付して、その説明を省略する。

【 0 0 4 9 】

本実施例 6 においても、前記実施例 5 と同様の作用、効果を発揮することができる。

30

【 符号の説明 】

【 0 0 5 0 】

1 サイドキャビネット

2 本体部

3 板状部材

1 1 , 3 1 凸部

1 5 , 3 2 凹部

2 1 デスク

2 2 天板

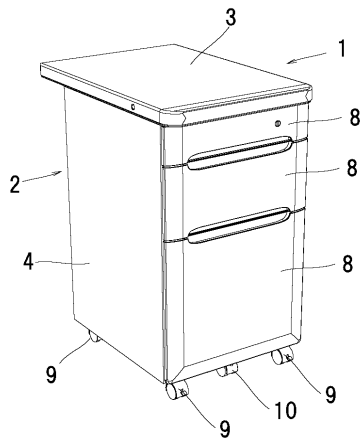
2 5 空間

40

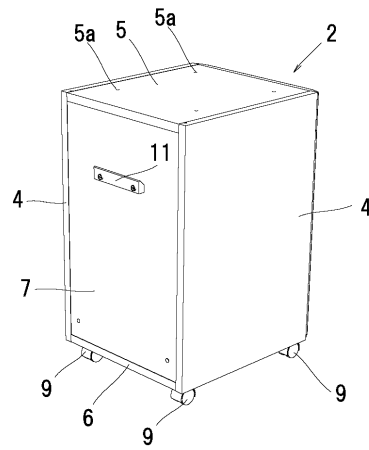
4 2 , 4 5 取付部材

4 3 , 4 7 , 5 1 収納部

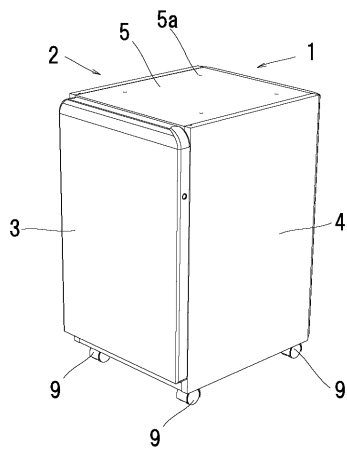
【図 1】



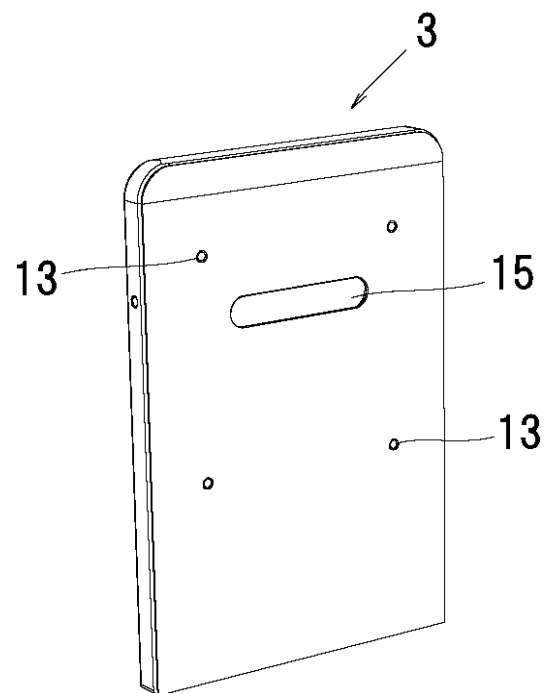
【図 2】



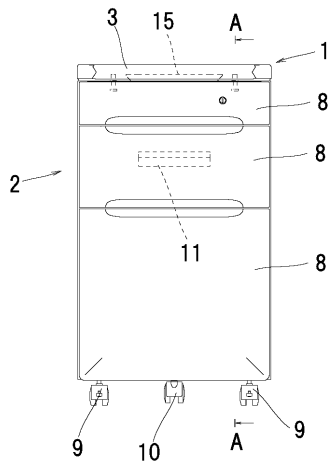
【図 3】



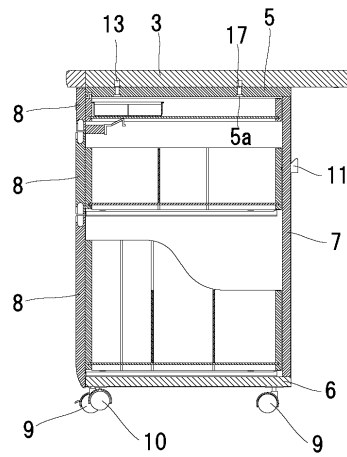
【図 4】



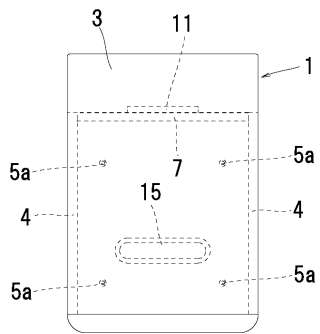
【図 5】



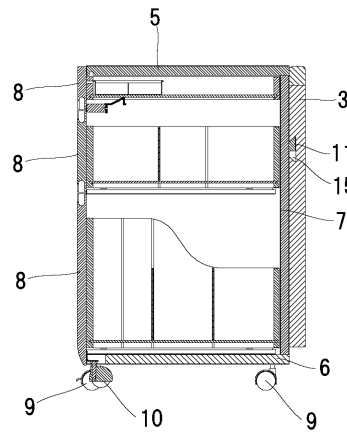
【図 7】



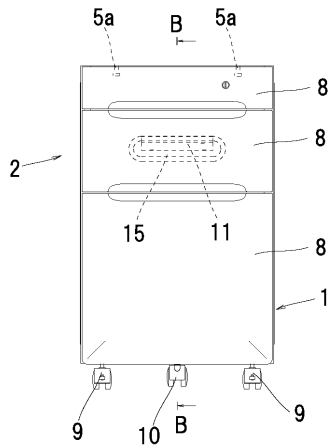
【図 6】



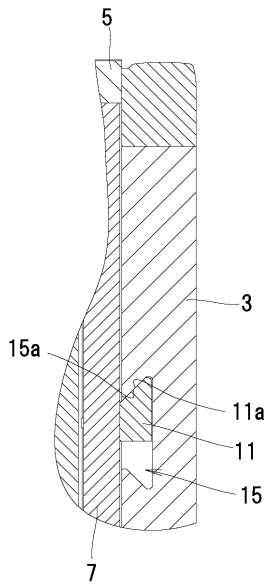
【図 9】



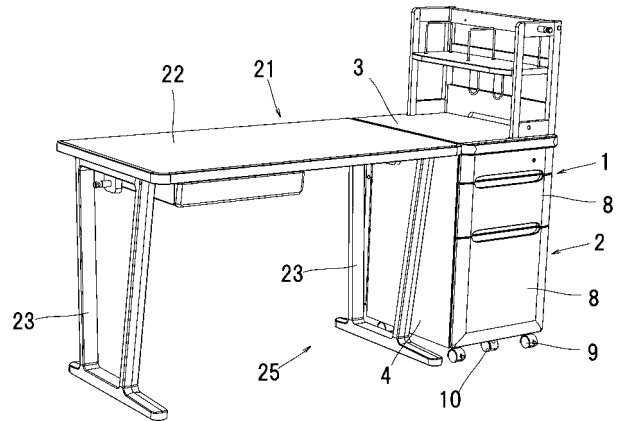
【図 8】



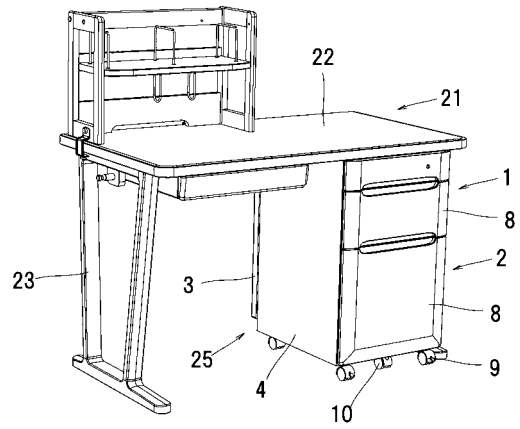
【図 10】



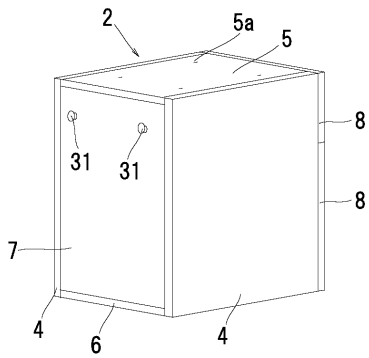
【図 11】



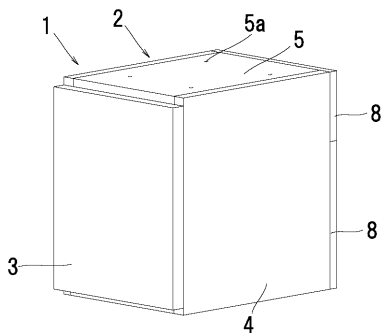
【図 12】



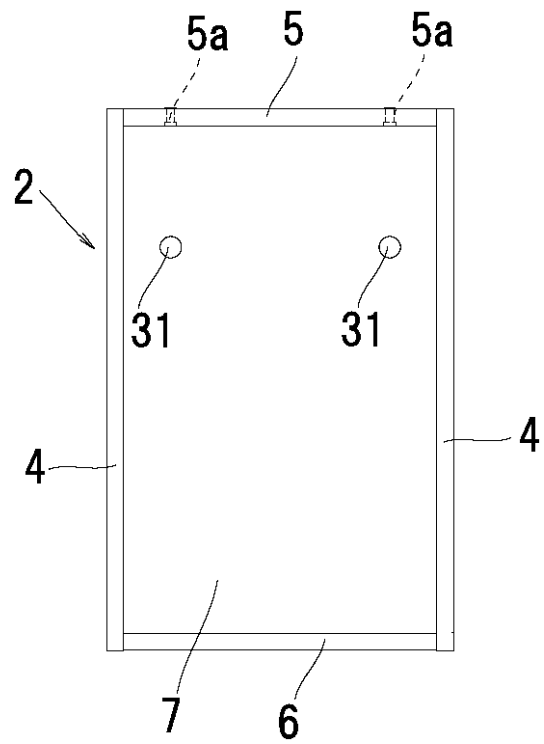
【図 13】



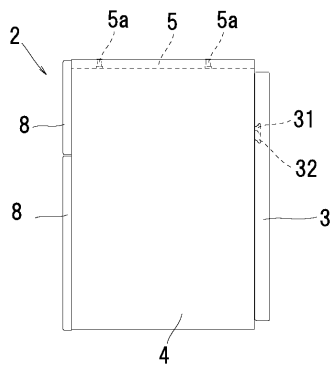
【図 14】



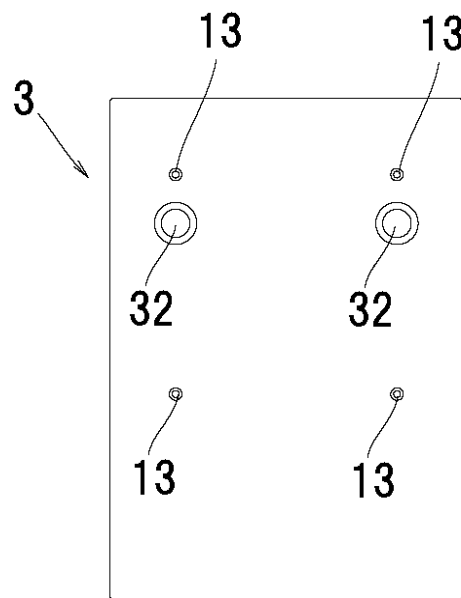
【図 15】



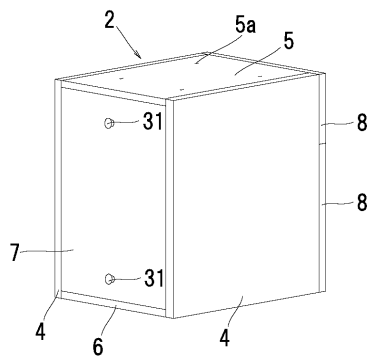
【図 16】



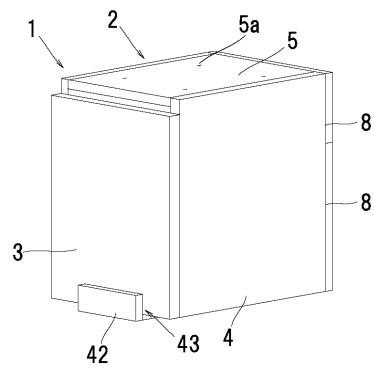
【図 17】



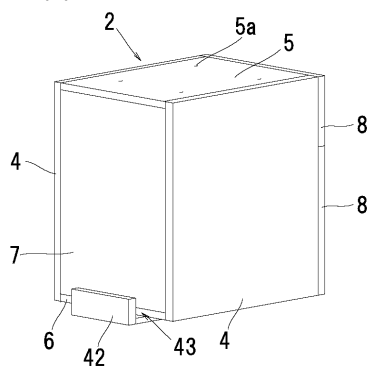
【図 18】



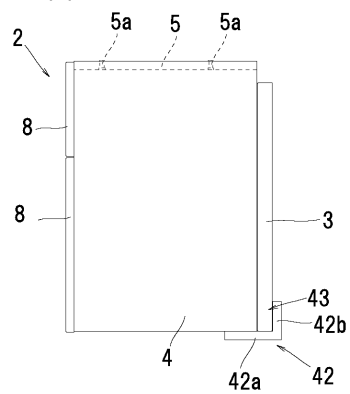
【図 20】



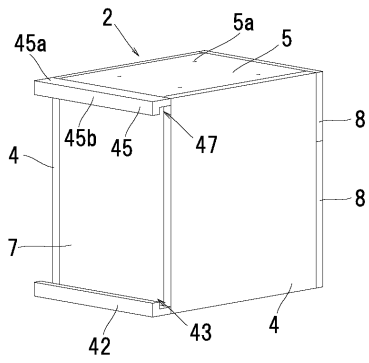
【図 19】



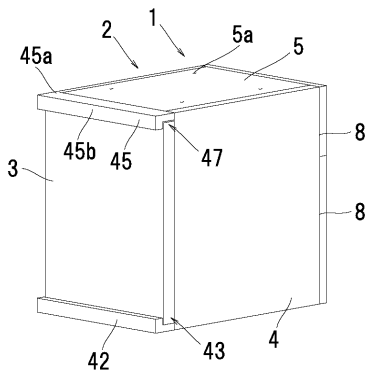
【図 21】



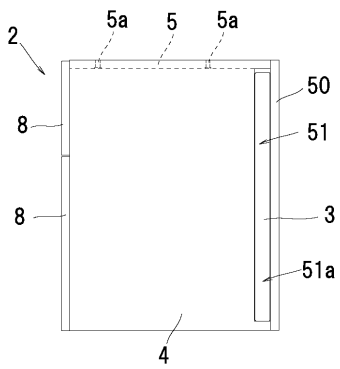
【図 2 2】



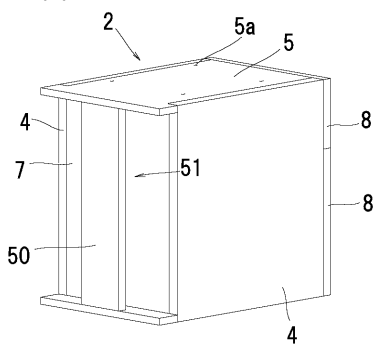
【図 2 3】



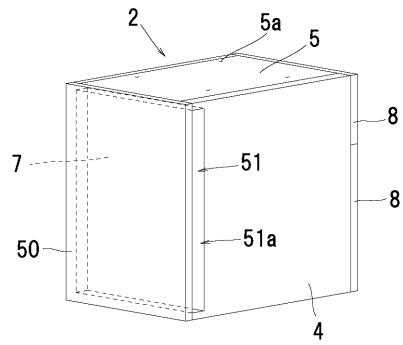
【図 2 6】



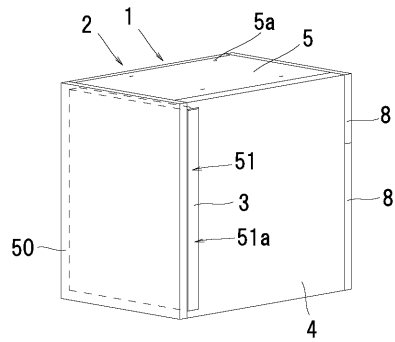
【図 2 7】



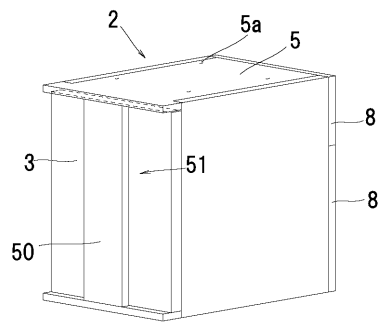
【図 2 4】



【図 2 5】



【図 2 8】



【図 2 9】

